

# 議会だより

2024.6

No.197



ニセコ町で開催された第47回後志ブラック&ホワイショウ

## 3月定例会・2月臨時会

令和6年度当初予算.....	1～2	一般質問.....	9～15
予算特別委員会質疑.....	3～4	行政報告.....	16
議会の審議内容.....	5～6	私たちこんな活動しています.....	17
補正予算審議内容・質疑.....	7～8	表紙写真をよむ.....	17
議会日誌.....	8	編集後記.....	17

# 令和6年度(2024年度) 一般会計当初予算

# 66.9億円

前年度当初比12.9億円(23.8%)の増

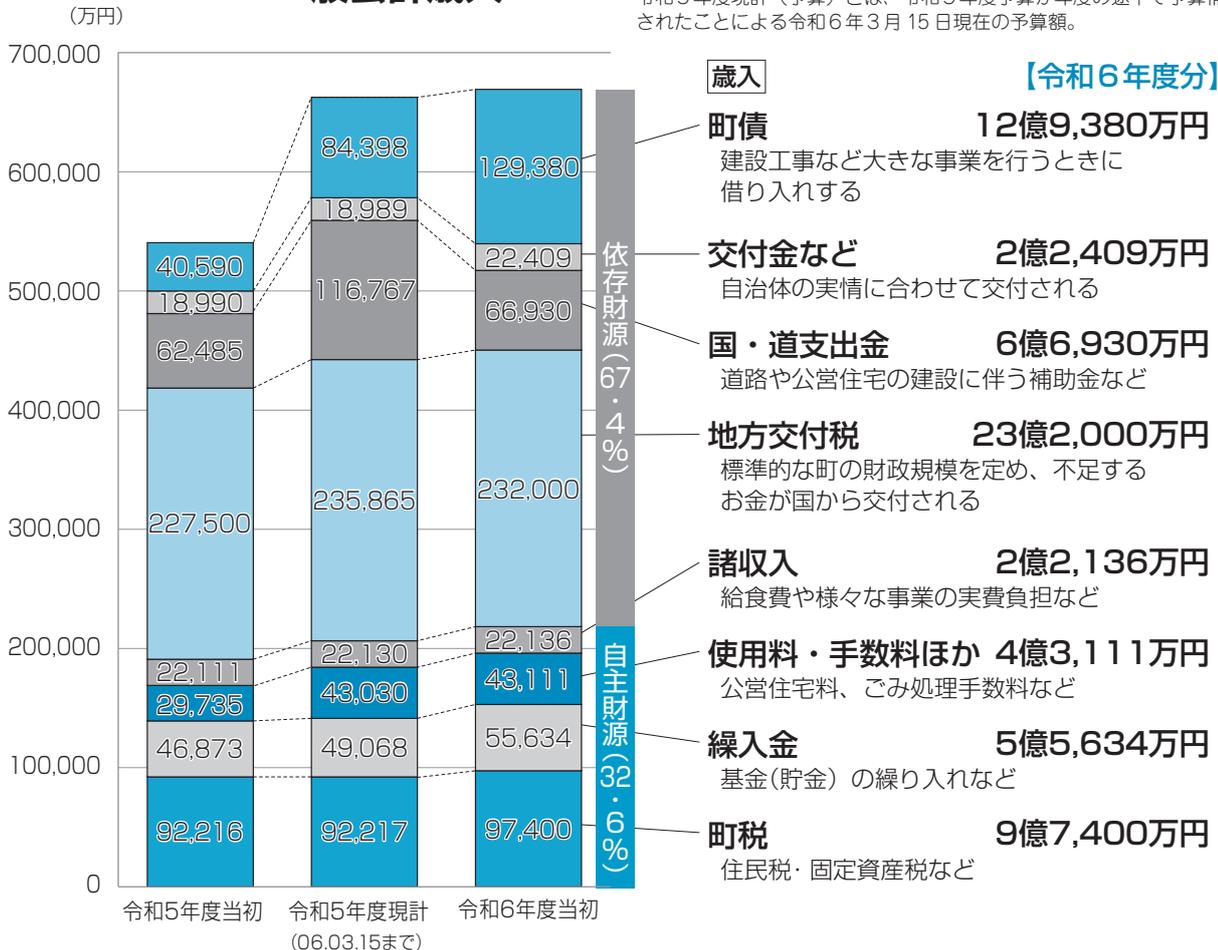
SDGs推進事業、気候変動対策推進事業  
 消防庁舎再整備事業(建設工事)、公営住宅長寿命化事業  
 道路や橋梁の補修、上下水道施設の計画的な整備を実施

特別会計を含む全会計では 69億7,260万円(前年度当初比22.8%増)の予算規模

令和6年度で予算規模の大きな投資的事業は、消防庁舎建設工事、中央団地5号棟複合型改善工事、町道二セコミライ通改良工事、国営緊急農地再編整備、橋梁長寿命化(浜本橋)、水道施設拡張整備(市街地区浄水場の新設)、下水道施設設備更新などを行います。

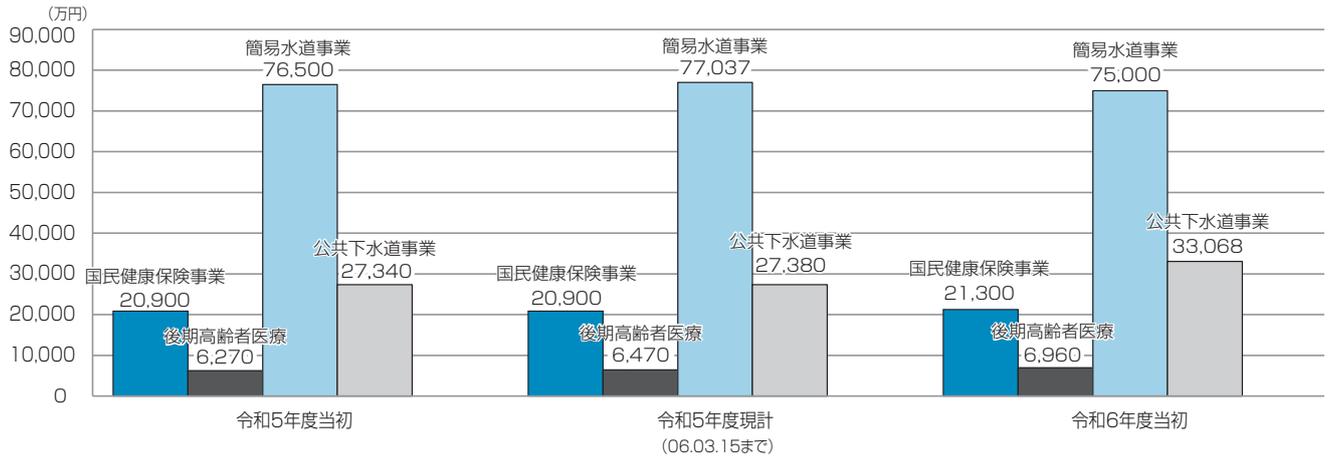
議会は、引き続き効果的な予算執行が行われているかどうかとともに、財政収支に着目していきます。

## 一般会計歳入



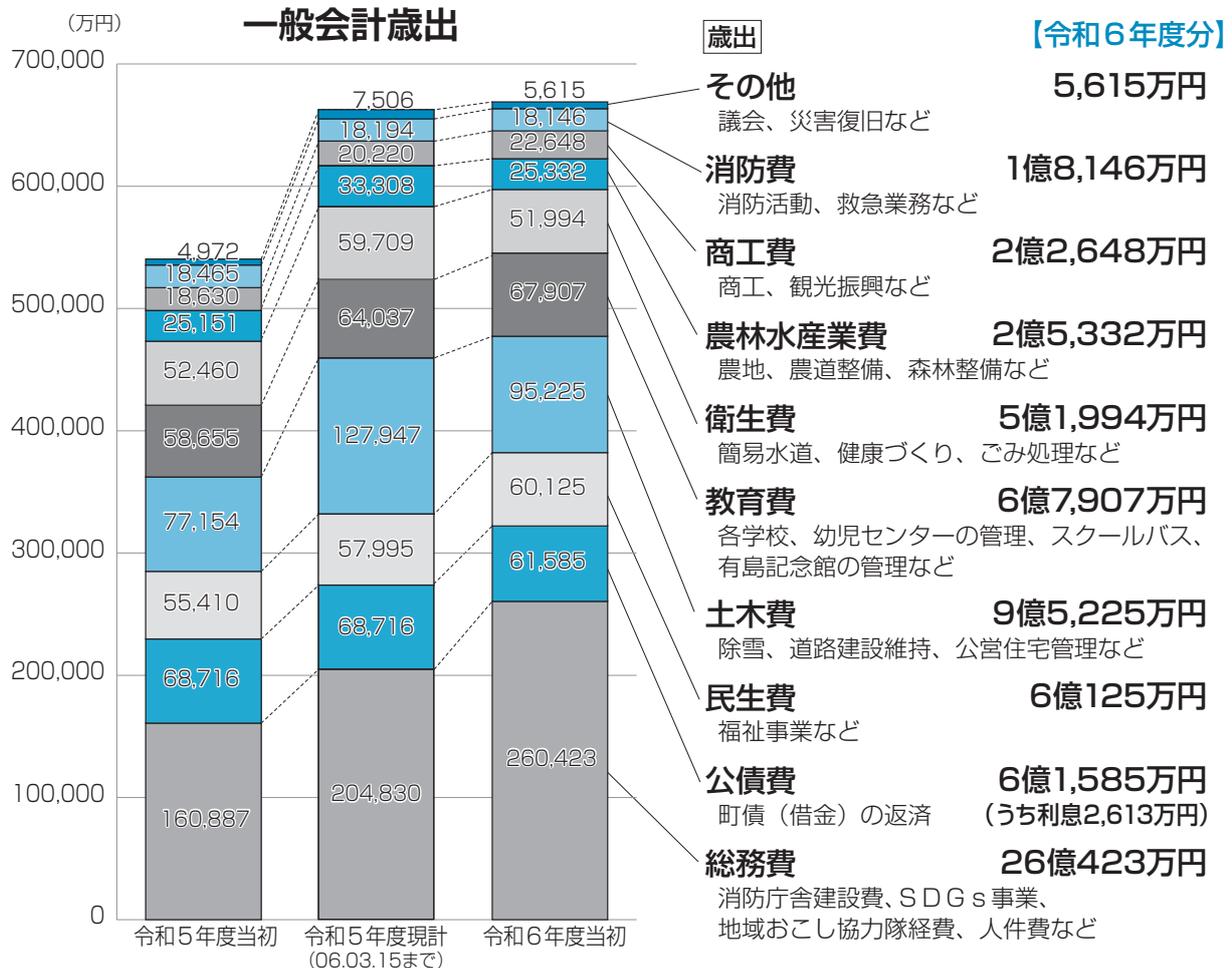
一般会計の令和6年度と令和5年度の予算比較

## 特別会計・公営企業会計の令和6年度と令和5年度予算比較 (単位：万円)



### 令和6年度予算は、予算特別委員会で審査

3月7日、令和6年度当初予算案は全議員で構成する予算特別委員会（委員長に木下裕三議員、副委員長に榊原龍弥議員を選出）に審査を付託されました。  
13・14日に款ごとあるいは歳入または歳出ごとに区分し慎重に審査を行った結果、令和6年度一般会計予算など全5会計とも原案のとおり可決すべきものとなりました。  
3月15日の本会議では委員会報告のとおり採択されました。



※予算に関する詳しい内容は、令和6年度版「二セコ町予算説明書「もっと知りたいことしの仕事2024」」をご覧ください。  
5月1日に自治会を通じて配布しています。

# 予算特別委員会質疑から

予算特別委員会を設置し、令和6年度一般会計・特別会計及び公営企業会計予算の審議を行いました。慎重審議の結果、予算特別委員会は令和6年度予算案を原案どおり可決すべきと決しました。

木下委員長を除く委員（議員）から多数の質疑がありましたが、その一部を掲載します。

## ■一般会計

### 【地域通貨の導入】

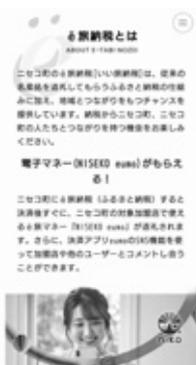
小松議員 運営はどこが行うのか。

企画環境課長 ニセコ町のふるさと納税（e旅納税）を運営している事業者者に、システム開発をお願いする予定。商工会や加盟店の意見を聴きながら進めて行く。

篠原議員 ニセコ町における地域通貨の姿を思い描くことができない。

町長 地域通貨が普及するとふるさと納税全体の底上げにもつながる。今後、商店などへ制度の説明など普及促進に向けた取組みをしっかりと進めていく。

高木議員 議会の中で理解が進む取組みが必要と考えるが、町長 決済の仕組み、お金（ポイント）の流れなど具体的な説明をさせていただきたい。



### 【デマンドバスの運行改善】

小松議員 予約システムを更新することで、どのような改善がされるのか。

企画環境課長 これまでは予約システムを使ってオペレーター2人で対応していたが、新システムではAIを活用する。乗り合い率を高めていきたいと考えている。

町長 デマンドバス運行システムの情報収集を進めている。現在は電話で何時何分まで時間指定する予約方式だが、スマートフォンなどで時間帯を予約するシステムは、乗り合い率を高める有力な運営方法と考えている。

### 【ニセコ福祉会の経営分析】

篠原議員 2年間にわたって経営状況の分析を行ったが、課題等の成果と町の対応は。

保健福祉課長 ニセコ福祉会の赤字の要因を調査し、その分析結果を踏まえ、経営の安定化に向けた数値目標とアクションプラン（実行計画）を策定する。経営安定化に向けた取組みに対し、町として支援する。



▲太陽光パネル  
(ニセコミライ街区駐車場)

### 【太陽光発電設備の設置】

高木議員 公共施設に太陽光を設置する調査・設計費が計上されているが、発電の規模は。

企画環境課長 役場庁舎、町民センター、綺羅乃湯、給食センター隣接地に太陽光による発電設備を設置する予定。発電規模は今回委託する調査結果を踏まえ、設備に要する費用や電力の有効な活用について検討し決定していく。

### 【帯状疱疹の予防接種】

篠原議員 昨年度から始めた帯状疱疹の予防接種への補助費について、対象開始年齢と実施状況について伺う。

保健福祉課長 昨年の実績は12月現在で約50人の方から接

種費用の扶助申請があった。対象者は65歳以上を対象としている。

篠原議員 厚生労働省では50歳以上を推奨している。ニセコ町も同様の年齢を対象とし、5年刻みでの接種を推奨する必要があるのではないかと。

保健福祉課長 50歳以上を対象として実施している自治体があることは承知しているが、本町としては高齢者の予防接種として位置づけ、インフルエンザ等とあわせて65歳以上を対象者としている。

厚生労働省が推奨している年齢も踏まえ、保健指導などの機会において予防接種の必要性や効果についてご案内していく。



▶ニセコ町では65歳以上の方には1回につき5千円助成しています。（不活化ワクチンは2回、生ワクチンは1回を上限）

## 【有害鳥獣駆除事業の拡大】

**齊藤議員** 有害鳥獣の駆除業務の委託費が前年度に比べ大幅に増えているが、事業の目標はあるのか。

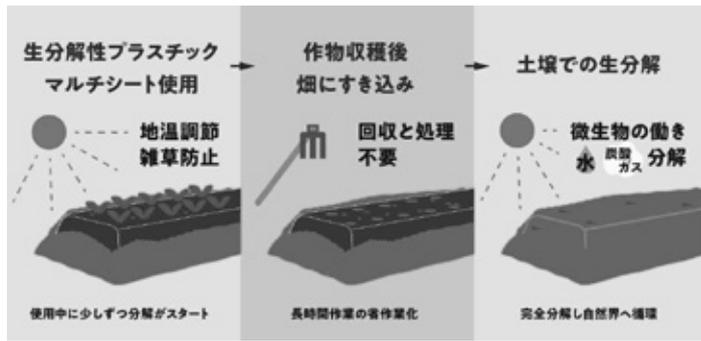
**農政課長** 委託費増加の理由はアライグマの駆除頭数が増えていること、堆肥センターでの箱罫によるカラス駆除期間を一ヶ月伸ばしたことにあ  
る。駆除した鳥獣の廃棄に必要な予算の増額なども要因となっている。農業被害がなくなる  
ことが一番の目標だが、相手は野生動物で繁殖力も非常に高いので、農業者への被害を少なくすることを目標に  
駆除を行っていく。

## 【生分解性マルチの普及促進】

**高木議員** 環境に負荷をかけないマルチを普及するための補助金を新たに創設したが、普及するための手立てはあるのか。

**農政課長** 生分解性マルチは収穫後にマルチを剥ぎ取るなどの作業がなく、産業廃棄物としての処理費用も必要ない。また、環境にもやさしいという部分もある。作業効率や費

用などメリット、デメリットはあるが、少しでも利用率を高めるため本年度より予算計上した。



出典：株式会社オーミヤ

## 【特定地域づくり共同組合による人材派遣制度の導入】

**高瀬議員** 組合員数の目標と事業者への派遣見込みは。

**商工観光課長** 人手不足を解消するため、町内の仕事を組み合わせて（夏の農作業と冬のスキー場など）年間を通じた仕事を作り、一定の組織で

職員を雇用し必要な労働力を事業所に派遣する仕組みを検討している。これまで関係機関と勉強会を重ね、本年度は移住支援員の配置、組合設立に向けた先進地視察などを実施する。組合員数などの規模や年間の派遣計画は今後具体的に検討する。

**高瀬議員** 組合事務所の場所の選定は。

**商工観光課長** 公共施設等の空きスペースなどを利用し事務所を設置することができれば経済的にも理想と考えているが、現在のところ具体的な場所は特定していない。

**町長** 過疎地での民間事業者による人材派遣事業は採算が取れなく、田舎の人手不足は解消されていない。このような状況を踏まえ、国では地域が主体となって人手不足を解消する事業に対し財政的な支援制度が創設されている。今回の補助金制度を活用することとしているが、経営計画など具体的な運営内容はこれからとなる。皆さんとの話し合いの中で熟度をあげながら進めていきたい。

## 【タクシー不足解消へ】

### ニセコモデル

**前原議員** 実証実験を実施した結果、地元タクシー事業者の経営に影響はなかったのか。また、現在の仕組みとは別にライドシェア制度を活用した実証実験を並走して行うことができないか。

**町長** 地元の事業者には今回の実証実験による影響は受けていないことを確認している。国の支援やタクシー会社の協力により11台のタクシーを増強して運行したが、利用者には1時間を超える待ち時間となり、今後に向けて改善しなければならぬ状況となっている。

私もメンバーである地域活性化を進める首長の会のライドシェア部会は、国交省とライドシェアの仕組みなどについて協議を重ねてきたが、方向性としては一般のドライバーが登録し、タクシー事業者の管理下で運行する方法が有力となっている。ニセコエリアにおける公共交通の確保は重要課題で、多種多様な方法が排除されたわけではない。

## 【町道豊里東通舗装改良工事】

**高木議員** 沿線住民から通行車両も多く、早く舗装工事を進めてほしいと要望があるがどのような状況か。

**都市建設課長** 今回予定している舗装工事は全長620mのうち約160mを予定している。全線の舗装完成までに4年を見込んでいる。

**高木議員** 完成時期を早めることができないか。

**都市建設課長** 現道は砂利道で大型車両の通行も多く、砂誇りにより沿線住民にご迷惑をおかけしている状況と認識している。関係部局と協議し、少しでも早く完成するよう努力する。

## 【ニセコ高校の入学者選抜】

**齊藤議員** 地域みらい留学による道外からの受験者数の制限はあるのか。

**学校教育課長** 今年度入学者選抜に応募した道外の生徒数は12人。道外枠は教育委員会が定める入学者選抜の実施要項で規定しており、令和6年度は定員枠の30%としている。

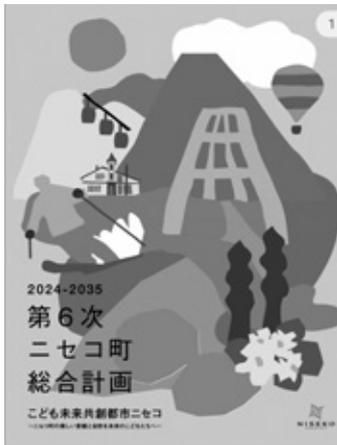
# 第6次二セコ町総合計画、町道の認定、条例の制定・改正 令和6年度各会計予算など30案件を審議

第1回臨時会が2月22日に、第2回定例会が3月6日から15日までの10日間の会期で開催されました。各回の審議の結果は表のとおりです。

第2回定例会では第6次二セコ町総合計画、条例の制定や改正などを審議し、新年度の各会計予算は予算特別委員会を設置して審議が行われました（1〜4ページに掲載）。

13日には6人の議員から一般質問が行われました（質問内容は9ページから掲載）。

2024 - 2035  
第6次二セコ町総合計画  
こども未来共創都市二セコ



～二セコ町の美しい景観と自然を未来のこどもたちへ～

## PickUP

### 総合計画の策定 基本理念 「2035年に 目指す姿」

ており、それに伴う子育て支援や教育の充実が必要です。

総合計画ではこうした現状や今後12年間に起こりうる社会の変化を踏まえるとともに、町民が希望する2035年の二セコ町の姿を基本理念として描き、その実現に向けた基本目標と主要な施策をとりまとめています。

新たな総合計画を実施するには、「二セコ町まちづくり基本条例」の柱である「情報共有」と「住民参加」と、町民と行政が協力しあい、住民間の相互扶助の意識を持続することが重要です。

第6次二セコ町総合計画ではこれからの12年間の変化に適切に対応するため、「住民自治」をさらに進め、美しい自然環境を守り次世代につながるのと同時に、二セコ町に住むすべての人が幸せを感じられるまちを目指します。

#### 基本理念（一部抜粋）

私たちのまち二セコ町は、雄大な山々に囲まれ、美しい自然環境がもたらす水資源に支えられ、生活や産業を育んできました。この豊かな自然環境や水資源は二セコ町の誇りであり、次世代へ継承すべき財産です。この財産を守るためには、自然環境や景観に関する町全体の将来像を描き、それを実現させるためのルールが重要です。

まちづくりの担い手は、現代を生きる私たちだけでなく、未来の子どもたちです。子どもたちが夢や希望をもち、心も身体も健やかに育つよう、二セコ町に関わるすべての人が子どもを育んでいきます。まちづくりの基本である「情報共有」と「住民参加」のもと、未来の子どもたちへ住みやすい二セコ町をつないでいきます。

総合計画は二セコ町の最上位計画となるもので、これまで5次にわたって策定し、まちづくりの指針と施策を掲げて計画的にまちづくりを進めてきています。

前総合計画の策定から12年が経過する中、二セコ町では「二セコ町環境基本条例」などに沿って森林などを守り育てることで美しい自然環境が保たれてきました。しかし、近年のリゾート開発に伴い、森林や水環境等の自然環境や景観が影響を受けるのではないかと懸念されています。

また、子育て世代や外国人の転入により人口が増加し

## 第2回定例会（会期3月6日～15日） 審議一覧

件名	結果	件名	結果
二セコ町立小中学校の給食の無償化を求める陳情	総務常任委員会付託	二セコ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数] 反対討論あり
専決処分した事件の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	報告受理	二セコ町草地畜産基盤整備事業の分担金徴収に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]
第6次二セコ町総合計画の策定について	原案可決 [賛成多数]	二セコ町公園条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]
二セコ町道路線の認定について（中学校西通）	原案可決 [賛成多数]	二セコ町水道事業条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]
二セコ町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]	二セコ町水道布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]
特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]	令和5年度二セコ町一般会計補正予算	原案可決 [賛成多数]
教育長の給与勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]	令和6年度二セコ町一般会計予算	原案可決 [賛成多数]
二セコ町職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]	令和6年度二セコ町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決 [賛成多数]
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]	令和6年度二セコ町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 [賛成多数]
二セコ町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]	令和6年度二セコ町簡易水道事業会計予算	原案可決 [賛成多数]
二セコ町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]	令和6年度二セコ町公共下水道事業会計予算	原案可決 [賛成多数]
二セコ町職員の自己啓発等休業に関する条例	原案可決 [賛成多数]	令和5年度二セコ町一般会計補正予算（追加）	原案可決 [賛成多数]
二セコ町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 [賛成多数]	令和6年度二セコ町一般会計補正予算	原案可決 [賛成多数]

## 第1回臨時会（会期2月22日） 審議一覧

件名	結果	件名	結果
専決処分した事件の承認について（令和5年度二セコ町一般会計補正予算） ※令和5年（2023年）12月25日補正	承認	専決処分した事件の承認について（令和5年度二セコ町一般会計補正予算） ※令和6年（2024年）2月7日補正	承認
専決処分した事件の承認について（令和5年度二セコ町一般会計補正予算） ※令和6年（2024年）1月11日補正	承認	令和5年度二セコ町一般会計補正予算	原案可決 [賛成多数]

生活支援・経済対策事業、低所得者支援・定額減税補足給付、能登半島地震の義援金などを可決

第1回臨時会では3件の専決処分を含む1億3671万3千円、第2回定例会では2億2330万1千円を増額する令和5年度（2023年度）一般会計補正予算を審議し、可決しました。ここでは、計上された事業の一部をお知らせします。



▲築33年のニセコ高等学校の希望が丘寮

会計区分	令和5年度当初予算額	令和5年度現計予算額	令和5年度補正後予算額
一般	54億500万円	62億6,462万5千円	66億2,463万9千円
国民健康保険事業	2億900万円	同左	同左
後期高齢者医療	6,270万円	6,470万円	同左
簡易水道事業	7億6,500万円	7億7,036万8千円	同左
公共下水道事業	2億7,340万円	2億7,380万円	同左

その補正予算に質問！

【給食センターの労働環境】

高木議員 生徒数の増加により給食の提供食数が増えてきているが、作業スペースなど労働環境に問題がないか。

学校給食センター長 現在の給食センターの調理対応可能数は560食で設計されており、令和5年度は最大で550食程度の給食を調理している。先般、生徒数がさらに増加することを想定し、調理員も含めて実際の調理可能数を確認した結果、600食程度までは可能だと考えている。生徒数の増加により冷蔵庫などの調理備品が増え作業スペースが狭くなるが、調理員の労働環境が悪化しないよう対応する。

【ニセコ高校の寄宿舎】  
篠原議員 全国から生徒を募集するには、居住環境を確保する責任がある。教育委員会としてどのように考えているのか。  
教育長 寄宿舎の整備は、生徒募集の重要な要素である。定員40人（総数120人）の生徒が集まると、現在の寄宿舎での対応が難しく、新しい

寄宿舎を整備するか現在の寄宿舎を増改築する必要がある。現在、ニセコ高校全体のコンセプトを寄宿舎を含めて検討している。

齊藤議員 管理人室を生徒の寮室に改修する予算が計上されているが、寄宿舎の管理体制はどのようになるのか。  
学校教育課長 これまで住込みで勤務していた管理人は通勤することになる。舎監講師と協力隊が交代で夜間の管理を行い、放課後から就寝までは教員も生徒指導を行う。

【能登半島地震への災害支援】  
篠原議員 職員派遣に至る経過と派遣先での業務は。  
防災専門官 効率的な支援と二次被害に遭わないことを基本に宿泊所の確保と移動時間を考慮し、石川県内で最も被害の大きい七尾市への派遣を予定している。  
業務は罹災証明書の受付、現地調査、物資の配布、災害廃棄物の運営支援などさまざま。また災害支援を予定。日々状況が変化するので、七尾市のニーズに応えられるよう柔軟に対応する。

舎での対応が難しく、新しい

業務は罹災証明書の受付、現地調査、物資の配布、災害廃棄物の運営支援などさまざま。また災害支援を予定。日々状況が変化するので、七尾市のニーズに応えられるよう柔軟に対応する。

# 補正予算の審議

一般会計（臨時会） 【歳入】 国支出金（物価高騰対応臨時交付金） 6812万2千円 道支出金（担い手確保経営強化事業補助金） 3562万8千円 地方交付税 3281万3千円	繰越金（前年度繰越金歳入歳出均衝） △1669万4千円
【歳出（主なもの）】 臨時特別給付金 6812万2千円 低所得者世帯・低所得子ども世帯・定額減税調整給付 3562万8千円 担い手確保・経営強化支援 3281万3千円	定住促進住宅整備 1億8216万円 定住促進住宅の建設 2906万4千円 町内の経済対策として全町民へ1人当たり5千円分のポイントを配布 2906万4千円 北海道自治体情報システム協議会負担金 323万3千円 マイナンバーカード対応など戸籍システムの改修 293万7千円 介護給付等給付費 293万7千円 近藤小学校営繕工事 72万1千円 階段への手すり設置 200万円 能登半島地震義援金・支援金 200万円

- 「その他事業（抜粋）」
- 堆肥センター攪拌機修繕 126万5千円
  - 公営住宅営繕工事 266万2千円
  - ふるさとづくり寄付金返礼事業 400万円
  - 道の駅ニセコビュープラザ改修 98万1千円
  - 給食センター備品購入 492万5千円
  - ごみ処理業務委託料 820万9千円
  - ニセコ高校寄宿舎営繕工事ほか 878千円
  - 羊蹄山ろく障害者相談事業 113万4千円
  - 補助金返還金（清算） 254万6千円
  - 幼児センター会計年度職員報酬 25万円
  - 給食センター会計年度職員報酬 11万7千円



## 議会日誌（一部抜粋）

### 2月

22日 第1回臨時会  
議会運営委員会  
全員協議会

27日 全員協議会ほか

### 3月

1日 ニセコ高校卒業証書授与式（議長祝辞）

6～15日 第2回定例会  
予算特別委員会  
議会運営委員会  
ほか

18日 ニセコ高校教育振興会役員総会（議長出席）

町内各学校卒業式、幼児センター卒園式（議長参列）

4月

5日 ニセコ小学校・昆布小学校入学式（副議長・総務常任委員長参列）

8日 北海道横断自動車道事業化決定訪問（東京都／議長出席）

19日 東京ニセコ会（東京都／議長出席）

### 5月

1日 第3回臨時会  
議会運営委員会

7日 後志総合開発期成会定期総会（倶知安町／議長出席）

9日 議会、たより編集委員会

12日 全員協議会  
国営農地再編整備事業推進期成会定期総会（議長祝辞）

23日 議会、たより編集委員会

23日 議会、たより編集委員会



# 一 般 質 問

一般質問とは、議員が町長や教育長などに対して施策の内容や将来の方針などについて質問するものです。令和6年（2024年）第2回ニセコ町議会定例会（会期3月6日～15日）では、6名の議員から10件の一般質問が提出されました。

ここでは要約したものを掲載します。詳細はニセコ町議会ホームページの会議録をご覧ください。また、会議録は議会事務局(ニセコ町役場3階)で閲覧することができます。

## 齊藤うめ子 議員

- ・ニセコ高校に制服は必要か
- ・子ども議会と主権者教育について
- ・ニセコハイツの現状とこれからの課題

P10

## 小松弘幸 議員

- ・ニセコ町内のスキーリフト券を町民限定割引販売実施について

P11

## 前原孝植 議員

- ・ニセコ町財政運営危機の町民への周知について

P12

## 高木直良 議員

- ・能登半島地震の教訓とは
- ・宿泊税実施に際しての課題について
- ・持続可能な観光事業について

P13

## 高瀬浩樹 議員

- ・開発事業増加に伴う用水の利用について

P14

## 榊原龍弥 議員

- ・地域循環型経済について

P15

## 議会を傍聴しませんか

議会では「定例会（年4回 会期1週間程度）」「臨時会(随時 会期1日程度、令和5年は4回)」を開催しています。

傍聴を希望される方は、会議の開催日などをニセコ町のホームページで確認いただき、ニセコ町役場3階の町民ホールへお越しください。1階の展示ホールのテレビでも中継ライブを見ることができます。

次回は6月に開催されます。





## Q ニセコ高校に制服は必要か

### A 生徒の主体性を尊重したい

Q ダイバーシティ（多様性）を尊重する社会を目指すニセコ高校に制服はふさわしいか。

A 教育長 制服や校則など生徒自身が自分事としてかわかっていくことを期待している。

Q なぜ制服か。明治期あこがれの洋服は皇族が通う学習院や帝国大学の男子生徒の着用に始まり、軍服にも採用された歴史がある。当時の服装への観念が現代にまで定着している。文部科学省は制服を一度も義務づけていない。生徒たちが制服とは何か、その歴史と文化・慣習、暗黙の強制力など考えてみてはどうか。

A 教育長 校則の改正も含め主体的に検討がされている。

Q 制服は学校が支給して生徒に貸与するのが一番公平ではないか。生徒に私服か制服か自由に選択を任せる。私服はお金がかかるという考えもあるが、町内の「生活の家」のバザーを積極的に活用し、リユースしてはどうか。限られた資源を大切に活用するためにSDGsの目標である「作る責任」「使う責任」に

ついて生徒たちが議論してはどうか。

A 教育長 学校の中で、あるいは生徒や保護者も含めて議論をしていただき、教育委員会としては最終的に学校が判断したものを支援していきたいと考えている。

### Q2 子ども議会と主権者教育

子ども議会に高校生、中学生の参加が1〜2名と少ないのはなぜか。高校生こそ積極的に参加すべきではないか。

A 教育長 2020年（令和2年）から高校生に声を掛けて来た。高校生は子ども議会と一緒に行動ではなく、独自で主権者教育に取り組むべきと考えている。

Q 議員に毎月配布される「地方議会人」1月号の特集の中で「主権者教育を国民運動にしよう」と呼びかけている。主権者教育は町の総務課と教育委員会、学校、議会が連携して開催すべきものと思う。民主主義の基本である主権者教育は、選挙がこの国の運命を決める観点から非常に

重要である。全国の3つの議会議長会が連携して国民に向けて主権者教育に力を入れて行くとしている。

A ことも未来課長 主権者教育は主権者として社会の形成に参画して行く学習を進める中で結果として政治に興味を持つて自主的な判断で投票に足を向ける働きかけが大切と考えている。

### Q3 ニセコハイツの現状と今後の課題

高齢化と一人暮らしが増え続けているが、町内で安心して暮らしていけるのか。

①ハイツは築37年が経過、建て替え計画は。②介護保険制度の改悪で要介護3以上が入所対象で50床中42名が入所で採算性、赤字の問題は。③人手不足の今後の見通しは。

A 町長 ①現在調査・検討中。②令和5年度は1千万円程度の赤字が見込まれているが国の補助金収入と介護職員が少ない状況で運営されている。③2023年12月から外国人技能実習制度を活用して7人の実習生がニセコハイツとグ

ループホームで勤務している。

Q 今、介護保険が危ない中でハイツ自体が存続の可能性はあるのか。SDGsの11に「住み続けられるまちづくり」という目標があるが、ニセコ町は高齢になっても住み続けられるまちづくりを考えているのか。

A 町長 国のいろいろな改革で介護保険報酬が大幅に引き下げられ、現状の入所数での運営は相当厳しい。どうやって維持できるか、専門の機関を入れて調査している。町も相当量の支援をし、人材育成のために一時的な手当も随時必要に応じて出してきた。規模を大きくするか、縮小するかを含め、現在調査している。

ハイツは必要だと思っている。自分で生活できるが、多少賄いがあるグループホームが無いのが課題であり、それができるとある程度町で終生住み続けられる基盤ができると考えている。



## Q 町民還元できるよう町としてバックアップを

## A 各スキー場に引き続き要望活動を行う

Q 今冬のリフト料金はニセコ地域を含めて後志管内の多くのスキー場で値上げとなっている。価格改定の理由として共通するのは、リフト・照明の稼働に必要な光熱費や人件費の上昇が挙げられる。

このリフト料金の値上げにより、町民はスキーを滑りになかなか行けないという声も多く聞く。町民も観光客も同額なので、町民限定でリフト料金割引販売できるようスキー場と町行政との話し合いを設け、町民還元に向けて検討できないか。

A 町長 ニセコのスキー場は上質なパウダーで、世界から多くの観光客の皆さんが来られる。このような環境は本町にとって大きな資源だ。

町民限定のリフト料金の割引については昨シーズンまでモイワスキー場で設定があったが、今シーズンは対象範囲を拡大し、北海道民限定の割引料金として設定されている。一日券8800円を40%オフの5200円で販売している状況だ。

スキー場の利用者数はコロ

ナ禍から大幅に回復しているものの、電気代の高騰などによりスキー場自体はいまだに厳しい経営状況が続いていると承知している。しかし、町の大きな観光資源であるスキー場へ地元にいる町民の皆さんが気軽に行ける環境が大変いいと思っているので、町民限定割引については各スキー場に引き続き要望しご理解いただくよう努力していきたい。

A 教育長 スキーリフト券購入への支援は、安全のため子どもに同伴する小学校低学年児童の保護者についても行っており、今シーズン子どもに関しても対象範囲を4歳以上の幼児に拡大した。現在、これらのリフト一日券配付やシーズン券購入助成については、スキー場各社に格別のご協力をいただき、定価から大幅に割引した価格に対して町で助成等をしているところだ。スキー場各社も独自の割引制度として、同伴する保護者向け割引制度を設定していただいている。

生涯スポーツ振興の観点から町と連携し、各スキー場の話し合いの機会を持ち、町民限定割引等について検討していただきたいと考えている。

Q 既に倶知安町内の各スキー場では地域密着したリゾー卜づくりの一環で、全年齢を対象に町民限定のくつちゃんローカル割として割引販売を実施している。ニセコ町としてはこれをどのように捉まえているのか。

A 町民学習課長 本町でも同様のものがあれば、生涯スポーツの振興という観点でより町民の皆さんがスキー場に行きやすい環境につながると考えている。しかし、経営状況等についてはスキー場ごとに異なるので、スキー場の皆様と丁寧に話し合いを進めていきたい。

A 町長 ニセコユニイテッドでニセコ山系のスキー場は連携しているので、東急さん、ハーモニーさんが実施されていてニセコ町内の事業者が行っていないのはいびつな状況だと思っている。引き続き要望活動を行い、ニセコエリア全体で統一していただけるようお願いしていきたい。

Q ニセコが冬型観光地として現在まで発展した経緯を鑑み、冬のスポーツとしてスキーを楽しむ環境づくりを進めるため、さらなるスキーの普及とニセコ町で暮らす幸せを感じていただけるよう、町民還元に向けて町がバックアップすべきではないか。

A 副町長 スキー場へ行く交通手段の確保として周遊バスを地域限定で走らせているが、これまでは補助金で対応してきた。今後は新たな持続的な財源も確保する中で継続運行をしていければ、スキー環境の持続にもつながっていくのではないかと考える。

また、地元のローカルルとして確立されている「ニセコルール」は大変貴重な宝物だ。このような運用を継続していけるような支援、バックアップを行っていきたい。

そのような環境整備も含め、今後もスキー場の皆さんとも検討は続けさせていただく。



## Q 「二セコ町財政運営危機」 町民周知は十分に行われているか

## A 健全財政であり、まちづくり懇談会でも財政状況の概要についてお知らせしている

Q 二セコ町では毎年の起債借入額を8億円以下で推移していたが、令和6年から10年までの間では目標基準値の2倍以上という身の丈を超えた公共投資計画となっている。令和7年における起債借入予想額は目標基準値の3倍以上の28億円。借金の負担は町民サービスの低下と職員給与の抑制につながり、町民の流出も考えられる。

(1) 町民への財政説明は十分に行われているか。

(2) 財政運営危機については町民の何%に周知され、何%が認識されているか。

(3) 令和12年から始まる年間公債費の基準値上振れ額約2・5億円の公債費返済計画は。

A 町長 (1) 町の財政状況は広報二セコ6月号に前年度の下半期、12月に本年度の上半期の状況を、10月号では前年度の決算状況をお知らせしている。また、予算説明書「もっと知りたいことしの仕事」において予算の概要などを、ホームページでは健全化判断比率及び資金不足比率計算書、財政状況分析表、統一的な基準による財務書類、公営企業

財務状況分析表等を公表している。加えて、各地域で開催のまちづくり懇談会でも町の財政状況の概要についてお知らせしている。

(2) 町民の認識については特別な調査などを行っていない。

(3) 将来負担試算額は1・5億円で、令和8年度から令和48年までに償還する見込みとなっている。

Q 実際にどのくらいの町民が理解されているのか。公共施設等総合管理計画は順調に進んでいるか。水道のインフラの更新費用はどこから捻出するのか。高齢者も増えて扶助費の捻出までしなければならぬ、そういった具体的なことを町民は知っているのか。

A 町長 町政懇談会等でお答えしているのですが、興味を持たれている方についてはご承知かと思う。二セコ町は健全財政であり、将来に負担になる要因は今のところない。

Q これは必ず町民に伝えてほしい。2040年問題、全国178市区町村の半分の存続が難しく、国土交通省も全国6割の地域で2050年に人口が半分以下になると予

測している。二セコ町の公共施設等総合管理計画は今どこまで進んでいるか。二セコ町の公共施設の人口一人当たりの所有面積は17・3㎡で全国平均の3・22㎡の約5・4倍だったが、いま何㎡になっているか。

A 総務課長 現在、施設数は124施設、延べ床面積が7万4895・91㎡、一人当たりの所有面積は14・76㎡に下がっている。当町の計画にも載せているとおり、老朽化が進み毎年度取り壊しなどを行っており、面積については少しずつ減っている。新しい施設ができてくるので、今後はまた少し上がってくると考えている。

Q 二セコ町は財政危機ではないと主張されるが、返済計画が見えないのに公共施設にかなり力を入れている。町民も理解できていないのでは。

A 町長 相当な危機感を持って財政危機突破計画をつくっている。年度によって起債額は大きく変動してもいいし、そういうことをやっていかないとまちづくりは進まない。今は人口が増え、31億円

の国の標準財政規模の町になってきた。4億4千万円ぐらい規模は大きくなってきている。当然それに見合う財政運営をしていかないと、町のインフラとか住民の豊かさが担保できない。過去の資料ではなく現在の資料も財政でシミュレーションしている。

Q 2月末に参議院会館に行つて国会議員3名と面談をし、地方交付金のことを聞いてきた。3人も同じ返答で、将来必ず交付金は減らされるということだった。歳出が増えるだけではなく歳入も減っていく状態で、どの予算項目からコストカットするのか。

A 町長 今後どう運営できるかという収入を見込んで財政計画をつくっている。今後とも説明を尽くしていきたい。

Q 二セコ町が提出した公共施設等総合管理計画は計画どおり進んでいない。なぜ令和6～8年でかなりの額の公共投資をするのか。

A 総務課長 国の有利な借金をうまく活用しながら返済していく起債計画を立てている。



Q

## 能登半島地震の教訓から初動体制等の見直しと泊原発再稼働反対の表明を

A

## 災害対応の見直しを進め、北電の安全対策を注視する

Q 能登半島地震は想定外と言われた活断層のずれが原因で起きた。(1)被害状況や救援活動など、防災行政上得た教訓を活かすうえで、町の防災施設、避難所に関する現状認識と今後の改善点を伺う。

(2)泊原発は積丹半島の付け根に位置し、能登半島震源域と同様の条件だ。避難計画は実効性がなかった。町長として、泊原発の再稼働に反対の意思を表明すべきではないか。

A 町長 (1)本町では、防災組織や発災時のマニュアル整備、防災訓練、物資の備蓄、民間との協力体制の確保などに努めてきた。今回、石川県七尾市へ職員2名を派遣しており、支援経験を教訓として必要に応じて災害対応の見直しを進めてまいりたい。

(2)原子力災害発災時は各家庭で、住宅被災者は公共施設や協力をえた町内ホテルなどで一時退避する。その後は状況を見ながら札幌市などへ退避する予定。

Q 初動体制で必要となる物資、機材は庁舎にのみ備蓄されている。町内18カ所の避難

所に必要な備蓄品を安全に届けられるのか。また、現防災計画には最大1日約9千人の観光客への対応項目はない。計画の見直しが必要であり、その際には女性や宿泊事業者の視点が欠かせない。観光庁の観光危機管理計画作成指針も参考にすべき。

A 副町長 備蓄品は保管及び管理の徹底のため、役場で一括保管している。運搬は公用車、ヤマト運輸、札幌地区のトラック協会、場合により俱知安の自衛隊を想定している。ホテルは顧客の安全対策に義務があるが、防災計画は不断の見直しをしていきたい。防災会議に女性、宿泊事業者をとの指摘は配慮したい。



▲バスでの住民避難訓練 (道作成の動画より)

Q 泊原発災害時の避難はバスを想定しているが、現実には不可能だ。住民の安全のため

め再稼働には反対すべき。  
A 町長 避難計画の手直しは順次必要と考えている。北電の安全対策も注視しながら対応していきたい。

### Q2 宿泊税の非課税措置について

Q 宿泊税条例案の審議で工事現場に入る長期宿泊者への配慮を求めた際、町長は「引き続き検討」と回答したが、検討したか。

A 町長 低価格帯や連泊者への配慮を求める声に、宿泊料金5001円未満の場合は税額100円という規定を加え、一定の評価をえた。宿泊税とは宿泊者の受益に着目し広く負担を求める考え方で、宿泊者の受益とはごみ処理や水道などのまちづくりであり、宿泊の目的や宿泊金額に関わらず享受するものと考ええる。

Q 観光目的ではなく観光を支える建物や施設を造るために働きに来ている方たちを町長が認める「例外規定」に読み込めないか。

A 町長 区分けして税を減免する措置は取れない。

Q3 持続可能な観光とは、持続可能な観光事業とは、国際的な評価や富裕層に選ばれる観光地を目指すことか。「観光ビジョン」の地域目線、町民目線が大事だと思いが。

A 町長 今後さらに上のアワード(受賞)の取組を進めるが、富裕層だけに選ばれる観光地を目指すことは全くない。基本は地元暮らしの人々が豊かさを感じられる、信頼される観光地二セコを目指していきたい。

Q リフト代値上げや飲食の異常な価格、宿泊料の値上がりにより日本人客の二セコ離れが起きているという危機感はないか。

A 町長 私も憂慮している。価格に対してできることには限界があるが、幅広い皆さんが来るリゾート地を目指していく。

Q 観光庁提唱の観光危機管理計画を策定すべきでは。

A 町長 既存の計画の中に入れば込むか、別立ての詳細計画が良いか検討したい。



Q

## 浄化槽切り替え時の補助金の周知をもっと徹底すべき

A

## 合併浄化槽への切り替え時の補助金は少し手厚くし、高度処理等の検討も勧めていきたい

Q ニセコ町の土地取引状況の増加に伴い、コンドミニアム、別荘など開発が進められるたびに住民説明会が開かれている。農業用水・環境の問題は農家には大きく影響する。農協に水利組合の事務局があり、建設前に事業者からの説明を受けるのが慣例となっている。中にはそれまで農業用として使われていた水が土地の売却のため使えなくなったこともある。このようなことはこれからもあり得ると思うが、町としてどのような対応を考えているか。

また、排水は合併浄化槽を通して流れているが、その水は農業者も活用し農作業を行う上で必要不可欠であり、最終的には農業者の生活と大きくつながっている。浄化槽のスペックを上げてもらうという指導は、町ではできないか。

A 町長 開発相談は増加傾向にある。現在は組合などに同意を得るよう開発業者に強くお願いしており、基盤整備事業には水路などの課題について相談を受けながら進めている。

浄化槽のスペックについては、現在浄化槽法により単独浄化槽の設置は認められていない。合併浄化槽の設置が義務づけられており、現在作成中の建築ガイドラインにおいて浄化槽放流水を自分の敷地外に放流する場合は、高度処理やろ過施設などの二次処理を検討するよう今後もお願いをしていきたい。

Q 畑の近くに次々と建物が増えてられ、その周辺で私たち農業者は生活を営んでいる。農家にとって水は必要不可欠なもの。かつての農家は田んぼを作り、その水をハウスや畑への防除の水として利用していた。私達は周りの畑や環境・水は守らなければならぬ。時が来ていると思う。

平成13年に努力義務で単独浄化槽から合併浄化槽に切り替える動きがあり、その後切り替え時の補助金が出ているが、町民への周知はされているのか。高度処理浄化槽にすることによって農業者も環境も守られるのではないか。

A 町民生活課長 令和5年度は合併浄化槽の新設と汲み取り、単独槽からの切替えについて補助金を出していたが、来年度は合併浄化槽の新設をやめ、汲み取りと単独槽から合併浄化槽への切替えに補助金額をとという考えでいる。まだ予算は通っていないがホームページ等で周知をしており、すでに何件か相談がきている。

Q 畑作農家では大きなタンクに水道水をためて防除に使うこともある。水田農家にとつては、水道水をためてというのは到底考えられないことだ。町としてはどのように考えるか。

A 町長 用水については、できるだけ農業者の皆さんが不便のないよう、農協とも連携を取りながら一緒になって進

めていきたい。

また、いま建築ガイドラインを整備しているが、通常の排水は20ppmの汚れたが、高度になると10ppmという相当きれいな排水になるので、開発案件についてはそのよう

にお願ひしていきたい。浄化槽補助もずっとやってきたが、新築が義務化されていくことなどから、単独から合併への切替えには少し手厚い補助金をと、今回議会提案させていた。汲み取りも合併浄化槽にする場合については補助対象になることと進めている。合併処理浄化槽に誘導するよう努力したい。





## Q 地域循環型経済について

### A 町外への、特にエネルギー支出を抑え、域内での経済循環を促進する

Q (1) 地域あるいは域内とはどこを指すか。  
(2) 域内での循環を達成するための課題をどう捉えているかを現状との比較で。  
(3) それらに関連して、地域通貨導入のメリット、デメリットの想定は。

A 町長 (1) ニセコ町内を指す。(2) 課題は、町外からの民間投資や労働力の活用などによる町外への資源の流出。エネルギー支出の大部分が町外へ流出しているの、再生可能エネルギーの域内での循環が重要。慢性的な住宅不足解消も循環率を高める大きな要因と考えている。

(3) 地域通貨のメリットは、町内限定使用と期限による消費喚起、デジタルによる効率的な決済環境。デメリットは、店舗などの初期の導入に関する不安。運用開始後のデメリットは特にならない。

Q 収入は拒まないけれども外でお金を使うことを拒否するということか。ニセコ町内だけで完結させることがいいことなのか。小さ過ぎるのではないか。もう少し広く考える

ては。

A 副町長 域内への収入は増やし、支出は控えるという考え方はそのとおり。場合によっては地域を周辺まで広げて考える。

エネルギー関係で支出している20億円程度を少しでも町内にとどめ還流させたい。例えば、高気密高断熱住宅を地元事業者が建設することができれば、建築費用は地元で還流する。

A 企画環境課長 総合計画内の地域循環経済についての具体策は、町内の資源を生かし、高い商品やサービスを生産して外貨を取得し、それを外に出さず町内で回していくこと。

Q ニセコ町では地域外への流出が46・8%。これは1741市区町村中1714位という全国でも域内消費がワーストクラス。企業の設備投資も同様。個人も企業も地元でお金を使わない現状への具体的対策は。

A 企画環境課長 ニセコリゾート観光協会・キラットニセコ・ニセコまち・雪森考舎への支援策、宿泊税、企業版ふ

るさと納税、企業誘致、地域通貨が地域経済循環の向上への具体的対策と考えている。

A 町長 これまで工業と建設業が圧倒的に不足していた。商工業の誘致は進んでいるが、建設はまだ脆弱なので内発的に育てるか外から呼ぶ。地域外への流出対策は町として限界があるが、本社誘致等は継続し、流入を促進しつつ経済の域内完結ができればと考えている。

Q エネルギー関係の支出以外に外へ出したくないものは。

A 町長 やはりエネルギー関連や資源。外への流出を少なくできれば、地域の生活が豊かになる。

Q 手段の一つとして地域通貨はあり得るが、いきなり予算化されている。成功の見通し、成功例はあるか。コストを含めたスキームを伺う。

A 企画環境課長 あくまでも実証実験。今回予算合計額が約850万円。

A 副町長 地域通貨で全てをまかなう話ではない。お金を地域で使うマインドを高める

もの、経済以外のコミュニケーションの連帯感を高める役割にも期待する。コストは事業者負担で、実証実験の段階で160店舗を想定している。e旅納税の流通も期待したい。

Q 事業者や町民の共感は得られているか。あるいは得られると考えているか。

事業者間の決済で使える二次利用まで考えたシステムか。

A 副町長 現状では共感を得られていないと思う。ユーモポイントが活用できる店舗は27店舗、キラカードが44店舗相互間のポイントのやり取りは可能としたい。

二次利用について、このポイントは3か月で失効というシステムで、なるべく換金しないポイントが循環するようにしたい。二次利用もできるようにしたい。

町内でお互いの助け合いのために活用する、健診のポイントとしてつける、ちょっと助けてほしいものに対してポイントをつける等、共感とそとの絆を深めるようなところへの使用も大事な側面であると考えている。

# 第2回定例会行政報告

(一部抜粋)

冬季オリンピック・パラリンピック招致関係者意見交換会

12月19日に札幌で開催され山本副町長が出席し、北海道知事ほか14名の関係者と意見交換をしました。

札幌市長から招致協力関係者への謝辞があった後、招致活動を停止するとの報告がありました。2030年大会がフレンチアルプス(フランス)、2034年大会がソルトレイクシティ(アメリカ)に事実上内定したこと、2038年大会の開催地決定に関してもスイスと優先的に対応することが決まり、招致が事実上困難になったことが理由です。

全体としては札幌市の招



致活動停止の判断を尊重することとなり、残念ではあります。本町も札幌市の判断に沿って対応させていただきます。

## 活力ある地方をつくる首長の会自治体ライドシェア研究会

ライドシェアに関しては、国においても議論が進んでいきます。現在のところタクシース会社が二種免許を持っていない方に登録していただき、会社の責任においておこなうことについては許可されるとなっています。

ニセコ町では福井地区で助け合い交通を実施していますが、自治体や自治会等がおこなうものについては許容するような仕組みで検討が進んでいます。将来的には各地区で相互扶助の仕組みとして使えればと動いています。個々の事業者も応援しつつ、将来導入されるとしても、このようなかたちをとっていききたいと考えています。

## 宿泊税の導入に関する作業進捗状況

12月26日、総務省自治税務局へ法定外税(宿泊税)新設の協議書の提出と説明をおこないました。大臣協議がおこなわれ、財政経営の審議会にかかった後に総務大臣許可が出る予定です。(3月12日に総務省から同意を得ました。)

## 羊蹄山麓環境衛生組合関係町村長会議 (2月26日)

現在、諸物価高騰等の状況から、し尿収集事業者の経営は相当厳しい状況となってきました。人の採用も全国的に難しい状況ですので、来年度中のし尿収集料金の値上げについて協議を進めていくことにしています。

ニセコ町は倶知安町に次いで羊蹄山麓環境衛生組合へのし尿と合併処理浄化槽の汚泥の持込み量が多く、その減量化をどう進めていくかというところが大きな課題になっています。

## 第2回北海道国民健康保険市町村連絡会議 (2月16日)

北海道から出された保険料の負担に合わせて実施していますが、現場ではその均等割負担がづらい状況にあり、道へ配慮をお願いしています。

しかし、道は国が出している指針のとおりやっているので、そこを調整することは難しいとのことでした。基金の活用等を含めいろいろな意見が出て会議が時間切れで終わってしまいました。今後とも道とはしっかりと協議をしながら、子どもがいる世帯が少しでも安くなるような配慮を訴えていきたいと考えています。

## 倶知安厚生病院運営委員会 (2月28日)

増改築工事については令和8年8月に外構工事完成ということ、現在スケジュールドおり進んでいるという報告がありました。また、病院の名称を令和

6年11月1日から「J A北海道厚生連倶知安病院」から「J A北海道厚生連ニセコ羊蹄広域倶知安病院」へ変更するというお話がありました。これは医師を募集するに当たって、ニセコ羊蹄という、しかも広域という名前を入れることによって、少し大きな病院であることもきちつとアピールしたいということもあつたようです。

今後とも厚生病院の活動を支援していきたいと考えています。

※訂正とお詫び※  
196号、14ページで「元町親交会」の表記に誤りがございました。訂正とお詫びを申し上げます。

※お知らせ※  
6月定例会の日程の都合で、次号198号は9月1日発行となります。

# こんな活動しています

## 町民活動紹介 No.16

### yawara <和太鼓八笑>



和太鼓八笑(やわら)は昨秋に立ち上がった町民参加のミニオーケストラ「OK・NISEKO(オケニセコ)」をきっかけに、ニセコ町役場の職員を中心に結成された和太鼓チームです。「日本各地にある郷土の和太鼓を楽しみ、打ち手も聴き手も笑顔にする」ことを目指しており、「八方(=あらゆる方面)を笑わせる」がチーム名「八笑(やわら)」の由来です。

現在は13名(2024年4月現在)のメンバーで活動しており、一部の経験者を除き初めて和太鼓を叩く方が殆どですが、皆さん太鼓の音色に惹かれ、運動不足の解消を兼ねて体を動かして楽しんでいます。

和太鼓でニセコ町を盛り上げていければと考えておりますので、よろしくお願いたします。



ミニオーケストラ会場入り口で演奏のお披露目



週末に町民センターで腕をみがいています



4月23日、第47回後志ブラック&ホワイトシヨウがニセコ町の家畜共進会場で催されました。午前中は「未経産」の6ヶ月、24か月未満の若牛、午後からは「経産」牛の出品でした。午後は晴れて温かくなり、羊蹄山やニセコ連峰もくつきりと姿を見せる中、各グループ単位で会場を飼い主に引かれ、審査員の厳密な審査を受けていました。出品されたホルスタインは全部で52頭ですが、ニセコ町からはそのうち6頭にとどまっています。ニセコ町では近年、酪農家が減り続けています。飼料の値上がりなどで経営環境も厳しくなっています。

### 表紙写真をよむ



ニセコ町から参加した元気なニセコブリーセブテンパーキュートマン

### 編集後記

尻別川でのラフティングも始まって、少し賑やかになってきました。田畑での農作業も活気づき緑が少しずつ濃くなってくるのを見ると、いよいよサマーシーズン到来となり少しワクワクしてきます。

先シーズンの冬は、海外からのお客様でスキー場やホテル、スーパー、飲食店はコロナ前と比べても大賑わいでしたが、雪解けと共に落ち着きを取り戻しました。そして徐々に夏の足音が聞こえてくると、昨年の異常気象ともいえる猛暑が思い起こされます。今年はいつもの過ごしやすいいニセコの夏に戻って欲しいものです。(Y・K)

### 議会だより編集委員

- 委員長 高木 直良
- 副委員長 前原 孝植
- 委員 齊藤うめ子
- 委員 木下 裕三

議会HPIはこちらからご覧になれます

